

下呂市環境基本計画を策定

下呂市は、平成二十二年六月に制定された「下呂市環境基本条例」に基づき、下呂市を取り巻く環境の保全や創造を進めるため、総合的かつ長期的な目標と施策の体系を定めた下呂市環境基本計画を策定しました。策定に際しては、市民有識者、学識経験者などで組織された「下呂市環境審議会」からの提言をいただき、現実性のある計画としました。（詳細については、市のホームページをご覧ください）

【経営管理部・総合政策課】

下呂市環境基本条例

～基本理念～

1. 環境の保全及び創造は、市民が健康で安全かつ快適な生活を営むことができる環境を確保し、これを将来の世代に継承していくことを目的として行われなければならない。
2. 環境の保全及び創造は、多様な自然環境が有するそれぞれの特性に配慮し、人と自然が共生できることを目的として適切に行われなければならない。
3. 環境の保全及び創造は、環境資源の有限性を認識し、環境への負荷の少ない健全な経済が持続的に発展することができる社会を構築することを目的として、すべての者がそれぞれの責務を自覚し、適切な役割分担のもとに積極的かつ継続的に行われなければならない。
4. 地球環境保全は、地域の環境が地球全体の環境に深く関わっていることをすべての者が認識し、あらゆる事業活動及び日常生活において積極的かつ継続的に行われなければならない。

下呂市環境基本計画

～基本理念を実現するための手段～

計画期間は平成 25 ～ 29 年度までとし、社会情勢の変化に対応し、適宜見直しを行ないます

下呂市総合計画

～下呂市行政運営の基本となる計画～

環境面での施策



下呂市環境審議会の様子

●下呂市環境基本計画の「目標」と「施策の体系」

分野	目標	施策
生活環境 大気・音・土壌・ 水質・化学物質など	生活や事業活動に伴っておきる環境への負荷を低減し、安全・安心な生活環境を守ります	<ul style="list-style-type: none"> ・公害の防止と対策 ・廃棄物の適正処理 ・生活排水処理
自然環境 河川・森林・農地・ 生物など	河川・森林・農地・生物の適正な保全保護に努め、豊かな自然環境を大切にします	<ul style="list-style-type: none"> ・河川の保全 ・森林の保全 ・農地の保全 ・生態系の保全
環境共存 文化・コミュニティ・ 産業・交流など	特徴ある自然環境を観光、文化、地域づくりに活かし、環境との良好な関係を保った元気な地域を創ります	<ul style="list-style-type: none"> ・自然とのふれあい推進 ・文化の保存と創造 ・市民参加による環境保全活動
快適環境 景観・環境美化・ 緑化など	豊かな景観を保全し美化に努め、生活に潤いを与える美しい地域を育みます	<ul style="list-style-type: none"> ・景観の保全と創造 ・緑化と美化の推進
地球環境 温暖化対策・ごみ・資源・ エネルギーなど	廃棄物の削減やエネルギーの見直しにより限りある資源を大切に、地球環境の負荷を軽減します	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化防止の推進 ・ごみ減量の推進 ・エネルギーの有効活用
環境教育 啓発活動・教育学習・ 普及活動など	環境についての教育や啓発活動により、環境に対する意識向上をはかります	<ul style="list-style-type: none"> ・教育学習と啓発活動の推進

これからのごみ処理を考える

多大な施設の修繕費用

処理施設を維持するため

「これからのごみ処理」を考えるうえで、前回までは処理の方法や減量化の面から施設の在り方をお伝えしました。ごみの処理量については人口の減少もありますが、皆さんの減量化対策への協力によっても減少しています。一方で、施設の管理費についてはごみの量に比例することなく増加しており、中でも点検や修理などの維持修繕費は、平成21年度・22年度には2億円にも達しています。これは老朽化に伴って大規模な修繕が必要となってきたためで、今後このような修繕が増えることが予想されます。

昔のごみ処理場は、焼却炉でごみを燃やすだけの施設でしたが、現在のクリーンセンターは大気汚染などの防止、臭気対策、廃水処理など、多くの機器が連動しながら稼働しています。

このため、部分的な故障でも施設全体を停止しなければならぬこともあります。

皆さんの生活に欠くことができないごみ処理事業が滞ることがないように、施設では専門技術者による定期的な点検整備を行い、最小限の修繕費用で施設の運転を行っています。

搬入ごみが原因の修繕も



右の写真は、切らずに捨てられたビニールシートです。このようなものは、ねじれて機械に絡みつくと停止や破損につながります。

ごみ袋に入れて搬入される場合は必ず30センチメートル以下に細かく切断してください。

このように、現在必要最小限の費用で施設を運営していますが、それでも年間1億5千万円から2億円の維持修繕費をかける必要があります。

新クリーンセンターの建設には、環境影響調査から、設計・工事完成まで約5年間を要します。これら建設費用は約60億円を見込んでいますが、完成するまでは現在の施設を稼働させなければならず、少なくとも7億円以上の維持修繕費が建設費用とは別に必要となってきます。

現在まだ新クリーンセンターの建設場所は決まっていない状況です。早期に建設場所を決定し、事業に着手できますよう皆さんのご理解ご協力をお願いします。

【環境部・環境施設課】

過去5年間の下呂市クリーンセンター維持修繕費と可燃ごみ量

